



「次世代」はもうはじまっている 環境と住む人と作る人にも圧倒的に優しい瓦

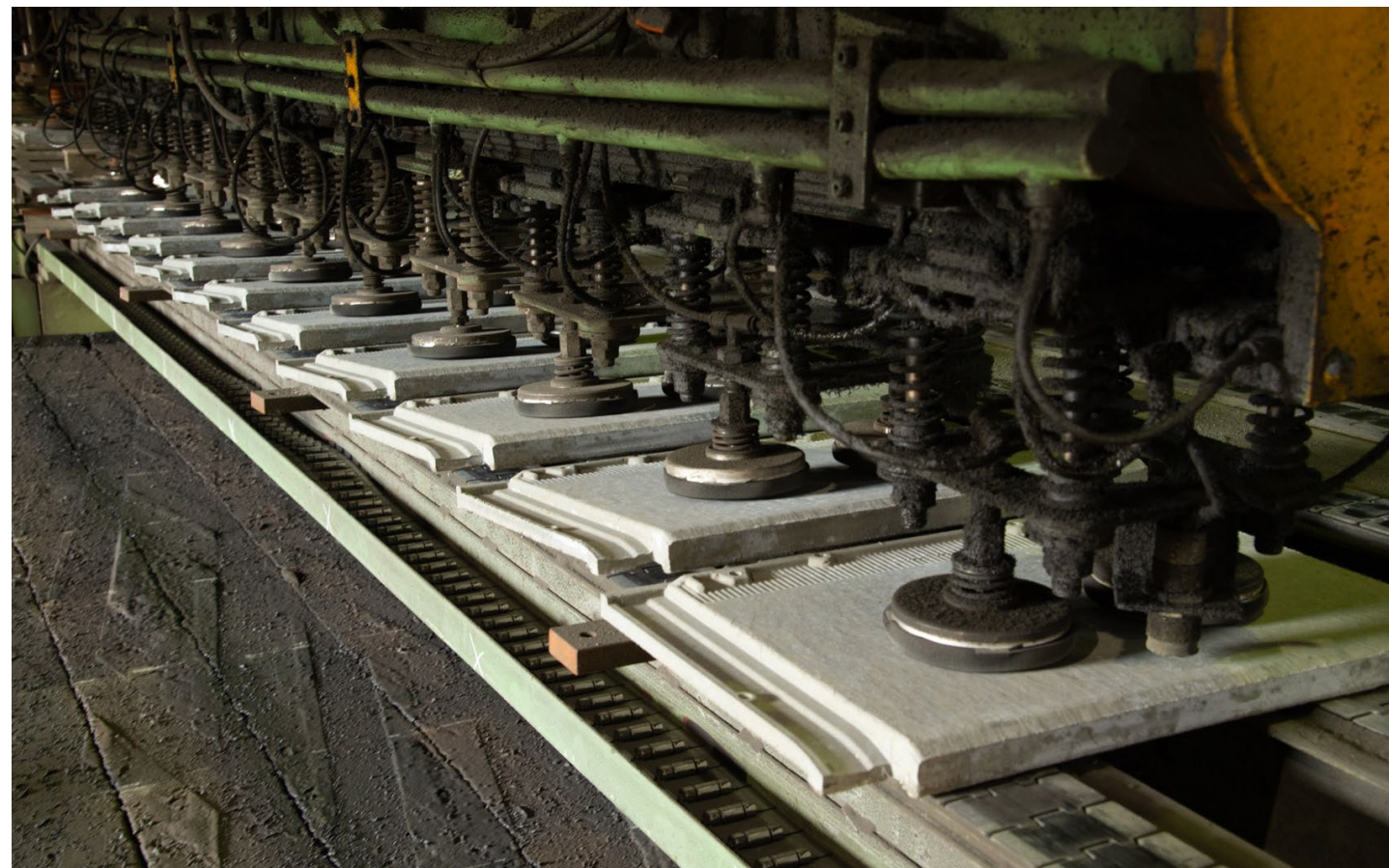
雨風に動じず、割れず、地震をいなし、長期間美しいこと。

陶器瓦が当たり前の時代に瓦の理想形を夢見て、

セメント系瓦の性能を磨き続けてきた。

70年間、積み重ねた知恵とノウハウで

住まいのクオリティを屋根から考える。



環境に優しい従来品を軽量化したセメント系屋根瓦の開発
セメント系不燃軽量材（床、屋根材）の製造装置の試作開発
多様な建材を省スペースでロボットを使った高稼働化生産プロセスの開発

1. 取り組みの経緯

阪神大震災を教訓にセメント系瓦の軽量化に取り組んできたが、それを進化させ、太陽光パネルを設置しても土台にかかる総重量が変わらないよう、さらなる軽量化をめざした。同時に、従来品の軽量化瓦の需要増に対応するために、また、国内市場の拡大が見込めない中、需要増の著しい海外売上比を伸ばしていくためにも、生産性の高い製造装置の開発が急務であった。



▲風圧・雨漏りの試験

2. 実施内容

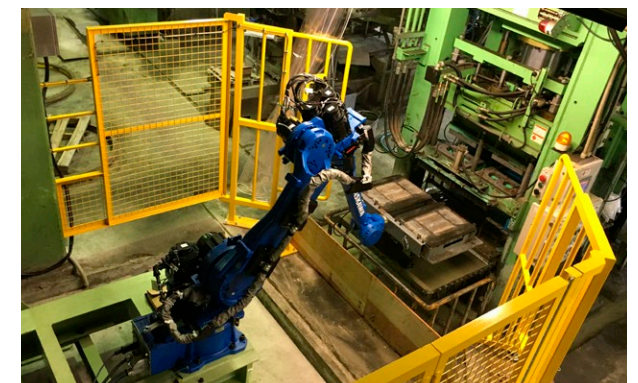
試作を繰り返してFRC（繊維補強セメント）の瓦を開発。徳島大学の協力により風圧・雨漏り・曲げ強度などの試験を実施し、従来品より力学&耐久性能で上回るとともに、重量低減に成功（H25）。量産体制構築のための、2倍速プレス成型機、金型装置、原材料供給装置の開発（H26）、さらに2倍速に対応するロボットを使った高稼働化生産プロセスの開発（H27）に取り組んだ。



▲軽量セメント系屋根瓦の開発

3. 取り組みの成果

耐衝撃度は2倍、強度・粘り強さは2～3割増で、40%軽量化、沖縄などの風の強い地域での暴露試験を経て、軽量強靱で長寿命の瓦が誕生した。また2倍速プレス機の開発により、稼働率200%を実現。この成果を応用し、中古機械を改造して海外販売する道もひらけた。2倍速プレスで過重となっていた作業者の負担を省スペースロボットの開発・導入により解消できた。



▲軽量セメント系屋根瓦成形プレス機

事業者から一言 ずっと革新を追い求めて

3度のチャンスをいただき、素晴らしい成果を得ることができました。焼成過程のない弊社の製法は環境に優しい上、廃材のリサイクルが可能、工場排水のろ過再利用にも取り組んでいます。屋根は資源であり、家と暮らしのクオリティを左右するものであるとの思いで、革新的なものづくりに挑戦し続けます。



代表取締役社長
馬淵祐三氏

富士スレート株式会社

〒771-0202
徳島県板野郡北島町太郎八須字新開1-32
Tel.088-697-0247 Fax.088-697-0253
●代表取締役社長 馬淵 祐三
●設立年月日 昭和20年9月
●資本金 5000万円
●業種 窯業・土石製品製造業
●従業員数 107名
●ホームページ <http://fujislate.com>